

森川亮輔展

station field
— 森の鼓動 —

2013 7/6 (土) ~ 9/8 (日)

会場：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー
〒078-8328 旭川市宮前通西 4153-1 JR 旭川駅東口

時間：午前10時30分～午後6時30分（入館は午後6時15分まで）

休館日：会期中無休

観覧料：無料

主催：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館



中原悌二郎記念

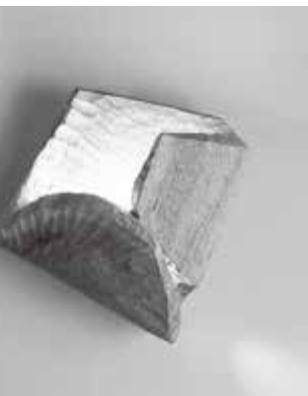
旭川市彫刻美術館
STATION GALLERY

左：<天と地の絆III-1000枚の鱗> 1993

右：<揺漂 No.1> 2013

森川亮輔は、一貫して木を素材とした彫刻作品を制作している中川郡音威子府村在住の作家です。より広いアトリエと豊富な素材を求め、東京都から福島県いわき市、北海道上川郡弟子屈町、そして音威子府村へと移住しています。その中で森川の作品は、特定の形を追い求める求心的な作品から、原木を素材とし、木に内在する生命そのものを彫り上げた大作へと、その形態を大きく変えています。素材が持つ木の目や節、洞（うろ）など、木の歴史とも言える要素を全て受け入れ、素材との対話を繰り返しながらたどり着いた形態は、内面的な生命感を宿しており、他の作品と呼应しながら、あたかも森が息づいているかのような展示空間を形成しています。

本展は、道内で初めての大規模な展覧会となり、新作を中心に過去の作品も併せて展示し、森川亮輔の仕事幅広く紹介します。



toyu tahi
＜揺漂 No.7＞ 2013



＜空城 No.2＞ 2008
旭川市大雪クリスタルホール設置
※本展には出品されません



1947年 東京都に生まれる
1971年 東京教育大学芸術学科彫塑科卒業
1995年 福島県いわき市に移住
1999年 北海道上川郡弟子屈町に移住
2001年 北海道中川郡音威子府村に移住

個展等

1979年 スルガ台画廊（東京）
1989年 なびす画廊（東京）
1993年 ギャラリー日鉢（東京）
1996年 ギャラリー檜（東京）
1998年 いわき市立美術館ニューアートシーン
2000年 川湯エコミュージアムセンター（弟子屈）
2008年 旭川彫刻フェスタ2008 公開制作
2012年 旭川NHK ギャラリー 他多数

グループ展

1990年 第二回現代日本木彫フェスティバル（岐阜県関市） 佳作賞
1996年 いわき市民美術展 佳作賞
1999年 「境界を越えて part1」（いわき市立美術館）
2004年 第13回樹を語り作品展（音威子府）
2008年 北海道立体表現展 '08（北海道立近代美術館）
2010年 北海道立体表現展 '10（札幌芸術の森美術館）
旭川彫刻フェスタ2010 他多数



＜天と地の絆IV＞ 2012

関連事業

森川亮輔ギャラリートーク

日 時：7月6日（土）午後1時～午後1時45分
会 場：旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー
参加料：無料
申込等：不要（時間までに会場にお集りください）

大人のための木彫ワークショップ

日 時：8月23日（金）午前10時～午後3時
会 場：神楽公民館 美術工芸室（神楽3の6）
参加料：300円
申込等：定員先着順20名
8月1日から彫刻美術館（69-5858）

利用案内

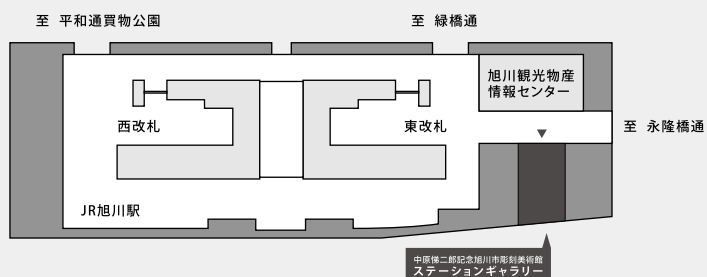
開館時間：午前10時30分～午後6時30分（入館は午後6時15分まで）

休 館 日：会期中無休

問 合 せ：旭川市彫刻美術館事務所

〒070-8003 旭川市神楽3条6丁目1番33号

tel.0166-69-5858 / fax.0166-69-5859



北海道立旭川美術館の展覧会もご覧ください。

劉生、再発見ー。

画家岸田劉生の軌跡

■会 期 6月7日（金）～7月18日（木）
■休館日 月曜日（ただし7月15日は開館）、7月16日（火）
■観覧料 一般 900（700）円、高次生 600（400）円、小中学生 300（200）円
*（）内は前売および10名以上の団体料金

奇才・ダリ版画展

あなたはこの夢幻からぬげだせるか

■会 期 7月26日（金）～9月8日（日）
■休館日 月曜日
■観覧料 一般 1,000（800）円、高次生 600（400）円、小中学生 300（200）円
*（）内は前売および10名以上の団体料金

■会 場 北海道立旭川美術館 〒070-0044 旭川市常盤公園内

■時 間 午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

■詳 細 北海道立旭川美術館 Tel. 0166-25-2577